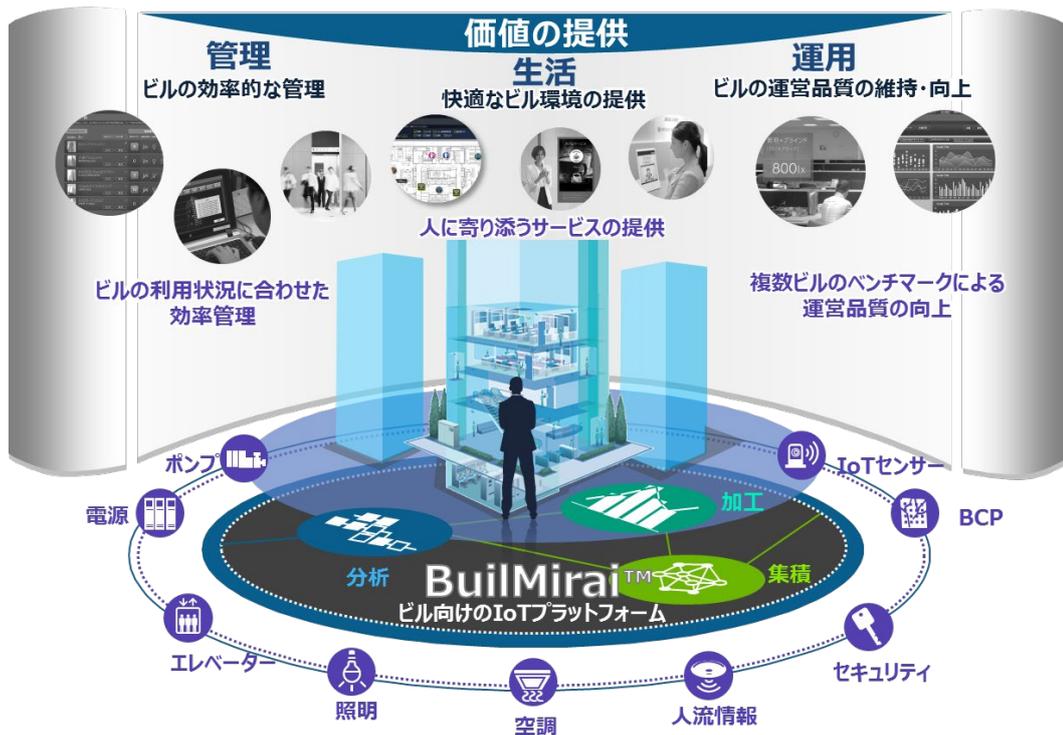


News Release

2020年11月12日
株式会社日立製作所

ニューノーマルで求められるビルの高付加価値化を実現する
ビル向けのIoTプラットフォーム「BuilMirai(ビルミライ)」を開発
日本マイクロソフトとの協創を深化し、ビル分野におけるLumadaのソリューション展開を加速



ビル向けのIoTプラットフォーム「BuilMirai(ビルミライ)」の概要図(イメージ)

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、ビル管理の効率化や、利用者の快適性向上など、新常态(ニューノーマル)で求められるビルの高付加価値化を実現する、ビル向けのIoTプラットフォーム「BuilMirai^{*1}(ビルミライ)」を開発し、ビル分野におけるLumada^{*2}の新ソリューションとして2020年中に日本国内で販売開始する予定です。

「BuilMirai」は、日本マイクロソフト株式会社(代表取締役 社長:吉田 仁志/以下、日本マイクロソフト)のクラウドプラットフォームである「Microsoft Azure」や「Microsoft Dynamics 365」を活用して開発したもので、日立は、今後、新たに開始したパートナー制度「Lumada アライアンスプログラム」^{*3}の下、日本マイクロソフトとの協創を深化し、ビル分野におけるソリューションの開発や海外展開を加速します。

近年、都心部においては、大規模なオフィスビル供給の継続により、テナント企業の獲得競争が激化しています。また、新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、働き方改革が進展しています。これらのビルを取り巻く環境の変化に伴って、デジタル技術の活用により、ビル内業務の効率化・高度化や、オフィスワーカー(以下、就業者)をはじめとするビル利用者の快適性向上など、ビルの高付加価値化、スマートビルの実現に向けた動きが加速しています。

このような背景のもと、日立は、株式会社日立ビルシステム(取締役社長:光富 眞哉)とともに、2020年4月に、建物内の非接触での移動・生活を実現するタッチレスソリューションを体系化し、順次ラインアップを強化*4しているほか、就業者にスマートフォンアプリで新たな就業・生活体験を提供するサービスプラットフォームをデベロッパー向けに開発*5するなど、ニューノーマルに対応したビル分野のデジタルソリューションを強化しています。

また、日立とマイクロソフトは、2020年6月に、製造・ロジスティクス分野向け次世代デジタルソリューション事業に関する戦略的提携に合意*6し、さらに、日立が2020年11月4日に開始したパートナー制度「Lumada アライアンスプログラム」にマイクロソフトが賛同するなど、さまざまな産業分野での連携を強化しています。今回、日立はビル分野において、「Microsoft Azure」や「Microsoft Dynamics 365」などを活用し、Lumada の新ソリューションとしてビル向けの IoT プラットフォーム「BuilMirai」を開発しました。

「BuilMirai」は、昇降機や空調設備などのビル設備の稼働状況を遠隔で統合的に監視、分析できるデベロッパー向けのソリューションで、主に大規模ビルを対象とし、複数ビルを横断的に監視、分析することもできます。また、ビル設備のデータに加えて、ビル内のエリアごとの混雑度などの人流データを組み合わせて分析することが可能で、ビル管理の効率化や、利用者の快適性の向上、ビルの運営品質の維持・向上を実現します。

■ビル向けの IoT プラットフォーム「BuilMirai」のモニター画面(イメージ)





■ビル向けのIoTプラットフォーム「BuilMirai」の概要

1. ビル管理の効率化

複数ビルのさまざまなビル設備を遠隔で統合的に監視し、ビルの利用状況を可視化することができます。ビル間、ビル内のフロア間の比較などにより、利用状況を加味した効率的な清掃・警備作業や、ビル設備の状態を踏まえた保守計画の策定が可能になり、ビル管理の効率化、管理品質の向上を支援します。

2. ビル利用者の快適性の向上

ビル内のエリアごとの混雑度などの人流データをもとに、昇降機や空調設備などのビル設備の制御システムとの連携を図ることで、混雑の緩和や、混雑状況に応じた温度設定などを行い、快適なビル環境の実現を支援します。また、トイレやミーティングスペースなどの利用状況・混雑情報の提供により、ビル利用者の効率的な設備利用や、ソーシャルディスタンスなど、ニューノーマルに対応した新たな働き方や生活を支援します。

3. ビルの運営品質の維持・向上

複数のビルについて、ビルごとのアラート発生状況、エネルギー使用量などをベンチマークし、運営課題の抽出や改善策の検討を行うことで、運営品質の維持・向上を図ることができます。

4. オープンな API*7 による柔軟なサービスの拡充

標準化したオープンな API の搭載により、パートナー企業による新たなソリューションの追加が容易で、柔軟なサービスメニューの拡充が可能です。

■株式会社日立製作所 執行役常務ノビルシステムビジネスユニット CEO

兼 株式会社日立ビルシステム 取締役社長 光富 眞哉のコメント

「『BuilMirai』は、今までにない効率的なビル設備の運用管理や、ビル内の快適な生活を実現する次世代のビル向けの IoT プラットフォームであり、デジタル技術を活用したスマートビル、スマートシティの開発を進めるお客さまに大きく貢献できると確信しています。本プラットフォームは、日本マイクロソフトとの協創を通じて開発しており、今後も、『Lumada アライアンスプログラム』の下、パートナーの皆さまとの協創を推進し、ビル分野における Lumada のソリューションを強化することで、『人・ビル・社会』に新たな価値を提供します。」

■日本マイクロソフト株式会社 代表取締役 社長 吉田 仁志氏のコメント

「日本マイクロソフトは、戦略的アライアンスの一環として、『Microsoft Azure』や『Microsoft Dynamics 365』を活用したビル向けの IoT プラットフォーム『BuilMirai』を、日立製作所さまが国内市場に提供されることを心より歓迎いたします。

特に『Microsoft Azure』は、お客さまのデジタルトランスフォーメーションを推進する AI や IoT テクノロジーを提供し、グローバルプラットフォームとして展開が広がっています。

日立製作所さまは、ニューノーマル時代のスマートビルソリューション開発を積極的に進められています。今回の『BuilMirai』によって、ビルシステム分野におけるデジタルトランスフォーメーションが加速することを大いに期待しています。本ソリューションについては、マイクロソフトにおいても『Microsoft AppSource』上で販促支援活動を行います。今後、海外市場への協業拡大を含めた日立製作所様との連携を拡大し、お客さまに寄り添いながら、社会変革につながるデジタルトランスフォーメーションを推進していきます。」

*1 商標出願中。

*2 お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション、サービス、テクノロジーの総称。

*3 2020年11月4日付ニュースリリース「社会価値、環境価値、経済価値および QoL の向上に向けたオープンイノベーションを加速するパートナー制度『Lumada アライアンスプログラム』をグローバルで開始」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/11/1104.html>

*4 2020年4月28日付ニュースリリース「建物内の非接触での移動・生活を実現するビル・マンション向けタッチレスソリューションの展開について」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/04/0428.html>

2020年6月30日付ニュースリリース「建物内の非接触での移動・生活を実現するタッチレスソリューションとしてサーマルカメラによる発熱者検知システムおよび運用支援ソリューションを販売開始」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/06/0630.html>

2020年9月24日付ニュースリリース「日立エレベーターの LINE 公式アカウントと友だちになって非接触でエレベーターを利用できる『LINE 連携タッチレスエレベーター呼びサービス』を受付開始」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/09/0924.html>

*5 2020年8月11日付ニュースリリース「オフィスワーカーにスマートフォンアプリで新たな就業・生活体験を提供するサービスプラットフォームをデベロッパー向けに開発」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/08/0811a.html>

*6 2020年6月26日付ニュースリリース「日立とマイクロソフトが、東南アジア、北米、日本における製造・ロジスティクス分野向け次世代デジタルソリューションに関する戦略的提携で合意」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/06/0626.html>

*7 API: Application Programming Interface

■商標注記

- ・Microsoft、Azure、Dynamics は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019年度の連結売上収益は8兆7,672億円、2020年3月末時点の連結従業員数は約301,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客様の社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム カスタマーサポートセンター

電話:0120-7838-99(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
